

#### 4. 中心市街地の再整備計画について

丸井通晴の質問内容	主な答弁内容
<p>長年の懸案であった旧松菱ビルの解体が地権者間の同意のもとようやく決定したが、解体後の施策については、結論が出ていないということを知っている。また、遠鉄百貨店の新館はこの秋に新装オープンすることとなり明るい話題ではあるが、それ以外の松菱通り地区、旭・板屋A地区、JR浜松駅前ビル街区、駅南地区等では何ら進展が見られない。</p> <p>またJR浜松駅周辺の北口広場、南口広場のあり方等、交通導線や周辺施設との連携不足等の課題が山積している。このことが都心の吸引力や魅力不足の要因の一つとも見られるところである。そこで、市制100周年を契機として、政令指定都市浜松にふさわしい顔づくりを進めるためには、行政が責任を果たすべき施策はもちろんのこと、地権者や地域住民自らが地域の将来を見据えたまちづくりを考えていく必要もあると思っているが、行政として官民協働で進める都心の再整備をどのように考えているのか伺う。</p>	<p><b>【市長】</b></p> <p>中心市街地は、都心としての風格と魅力を醸し出すことが必要であると考える。そこで、本年度実施する「都市機能更新促進事業」において中心市街地の中から整備すべき街区の優先順位を定め、様々な選択肢を示しながら更新を促すよう開発手法のメニュー化などに取り組んでいく。都心の機能更新と魅力あるまちづくりを目指し、官民の役割分担のもと、市としては都心での活動を支える浜松駅周辺のインフラ整備を担い、併せて、民間の皆様と連携し、戦略的なまちづくりを展開できるように取り組んでいく。</p>